



CORNES AG.

Quality & Innovation

LELY CALM

カーフフィーダー

バリオ スマート





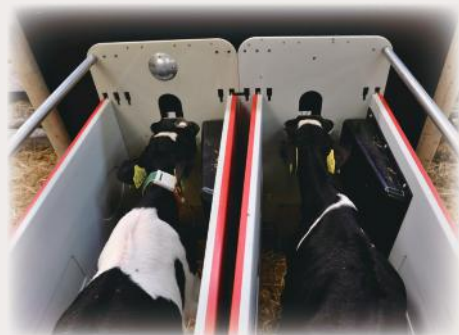
なぜ哺乳ロボットを使う
牧場が増えているのでしょうか。



「子牛」に
やさしい

「子牛」にも、「人」にも、
うれしいメリット！

「人」に
やさしい



良好な発育をサポート

少量多回哺乳で下痢を低減

自然に近い哺乳



哺乳作業を大幅に軽減

子牛の健康管理を向上

フレキシブルな哺乳設定

哺乳作業を
楽にしたい

子牛の管理を
向上させたい

丈夫な子牛を
育てたい

そんな酪農家の願いをかなえてくれるロボットです。

カーフフィーダー CALM



本来、子牛は1日に何回にも分けて、少しずつ母牛の乳首からミルクを飲みます。しかし、人の手で子牛にミルクを与える回数は1日あたり2～3回程度に限られてしまい、1回に与える量も多くなってしまいます。

カーフフィーダー CALMは、子牛が母牛からミルクを飲むように、乳首を通して少量ずつ1日に何回にも分けて哺乳が行われます。自然に近い哺乳方法により、消化器官の発達と消化吸収を促進します。そしてミルクの与えすぎによる下痢が減少し、成長に応じた無駄のない量のミルクを与えることができます。

また、1日の設定量や1頭ごとの哺乳量を簡単に確認できるため、多頭数であっても子牛の健康管理が楽になります。これまでミルクの準備や哺乳に費やしていた時間を、子牛の観察や哺乳量確認、さらに他の作業や余暇のために使うことができるようになるのです。

家族経営の牧場から大規模な育成牧場まで、さまざまなニーズに応えます。

LELY



一定品質のミルクを給与します。

子牛の消化に最適な40℃前後の一定温度（調節可能）で哺乳を行います。
ミキサーとボイラー、2ヶ所に装備したセンサーにより、ミルクは常に正確な温度を維持。フルオートで、設定に応じたミルクが供給されます。

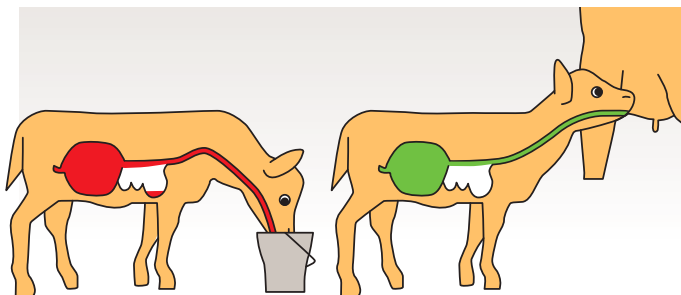
生乳給与にも対応します。

代用乳のみ給与可能なパウダータイプに加え、生乳の給与も可能なコンビタイプもラインナップ。
コンビタイプでは、哺乳期間中に生乳と代用乳の混合比率を変化させることも可能です。



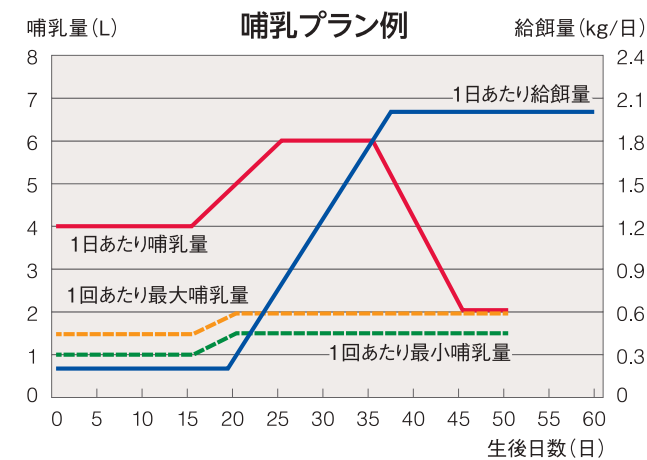
子牛が飲みやすい設計です。

ミルクを飲む高さは母牛の乳首に近い位置に設定。
子牛は母牛からミルクを飲むように、乳首を通じてゆっくりとミルクを飲むことができます。
ミルクは連続して食道を通過し、ルーメンに流れ込む心配がありません。



哺乳プランがフレキシブルです。

一度に与えるミルクの最大・最小量を設定し、適正な量を1日何回にも分けて与えることで、飲みすぎや栄養不足を防ぎます。哺乳日数に応じて1日あるいは1回あたりの哺乳量やミルク濃度を増減できます。



1台で40～50頭の牛群に対応します。

哺乳ステーション1基あたり最大20～25頭の牛群に対応。
哺乳ステーションは、カーフフィーダー1台あたり標準で2基まで設置でき、最大40～50頭の牛群に対応します。



大容量 粉ミルクホッパー

粉ミルク約35kgを保管可能。
下部が透明で残量を確認できます。

操作ターミナル

子牛の登録や哺乳プランの設定、哺乳状況の確認など全ての操作を手元で行うことができます。



添加剤投入装置 (オプション)

粉末と液体、2種類の添加剤を併用して投入することができます。ミルクと同様に、哺乳日数に応じて供給量を変更できます。投入量は1日あたり、給与するミルク1リットルあたり、それぞれ設定が可能です。

蠅よけカバー

ミキサーやホッパーへの蠅の侵入を防ぎます。

■ ミキサー (ミキサージャー+モーター)



強力なモーターで代用乳を速やかに溶かし、温度センサーで正確なミルク温度を監視します。
500mLと250mLの水位センサーを内蔵しているため、哺乳量も計測します。

■ 乳頭洗浄装置



哺乳中のみ乳頭がステーション側に移動し、哺乳が終了すると乳頭が元の位置に戻り、子牛が長時間乳頭を舐められないような構造になっています。乳頭が元の位置に戻る際、水で乳頭の汚れを洗い流します。

■ 哺乳ステーション



子牛が哺乳ステーションに入ると、子牛の首輪についた個体識別タグをアンテナが認識し、カーフフィーダーが哺乳可能かを判断します。哺乳可能な子牛に対してはミルクが生成され、乳頭を介してミルクを飲むことができます。

■ 配合飼料フィーダー (オプション)



子牛用配合飼料フィーダーを接続することにより、給餌量に応じた離乳プランを設定し、効率的な離乳管理が可能となります。配合飼料の給餌量もカーフフィーダーから設定します。

PC、スマホから子牛の情報を一括管理できます。

専用ソフトウェアやクラウド・アプリとの連携により、パソコンやスマートフォンから遠隔で子牛情報の確認が可能になり、複数台のカーフフィーダーの一括管理も簡単に行えます。



※使用にあたっては、通信環境の確認が必要となります。

■カーフフィーダー 仕様

仕 様	電気仕様	単相200V (50Hz/60Hz) 17A 3.4kW	
	重量	約70kg (粉ミルクや水が入っていない状態)	
	給水圧力	1.0bar~6.0bar (目安)	
	ボイラー	容量: 7リットル / ヒーター電気容量: 200V 15A 3kW	
	粉ミルクホッパー	最大量35kg程度	
	ミキサー	自動洗浄機能付き	
	哺乳ステーション	標準で2基まで哺乳ステーションを接続可能	
寸 法	哺乳可能頭数	哺乳ステーション1基あたり最大20~25頭、 哺乳ステーション2基接続の場合は最大50頭程度まで	
	高さ : 幅 : 奥行き :	約126cm 約76cm (両横扉を閉じた状態) 約57cm (粉末添加剤装置含まず)	
本体標準装備 (パウダータイプ・コンビタイプ共通)	●粉ミルクホッパー ●蠅よけカバー	●ミキサー ●凍結防止装置	●洗剤投入装置 (ミキサー用) ●粉ミルク排出口湿気防止装置
哺乳ステーション標準装備	●個体識別アンテナ ●乳頭洗浄装置 (エアシリンダー制御、別途コンプレッサーが必要。供給電源: 単相200V)		
個体識別	●ネックバンド式タグ		
オプション	●本体ステンレスフレーム仕様 (標準は赤色塗装亜鉛メッキ) ●粉末添加剤投入装置 ●液体添加剤投入装置 (粉末添加剤装置との併用可能) ●子牛用配合飼料フィーダー ●PC管理用ソフトウェア「カーフマネージャー」 ●コンビタイプ用生乳保管タンク (容量120リットル / 冷却機能無し)		



株式会社 コーンズ・エージー

〒061-1433 北海道恵庭市北柏木町3丁目104番地1

TEL(0123)32-1452 | FAX(0123)32-7052

WEB



WEBサイトはこちら ▶▶ www.cornesag.com